

# 大分県土砂災害避難促進アクションプログラムの概要

## 【土砂災害に関する避難促進検討会議】

### 【背景】

平成30年7月豪雨では、避難勧告等が発令されていたが、避難行動がとられず、全国で多くの犠牲者が発生。

### 【開催趣旨】

土砂災害から県民の命を守るため、実効性のある避難行動を確保するための取組を立案

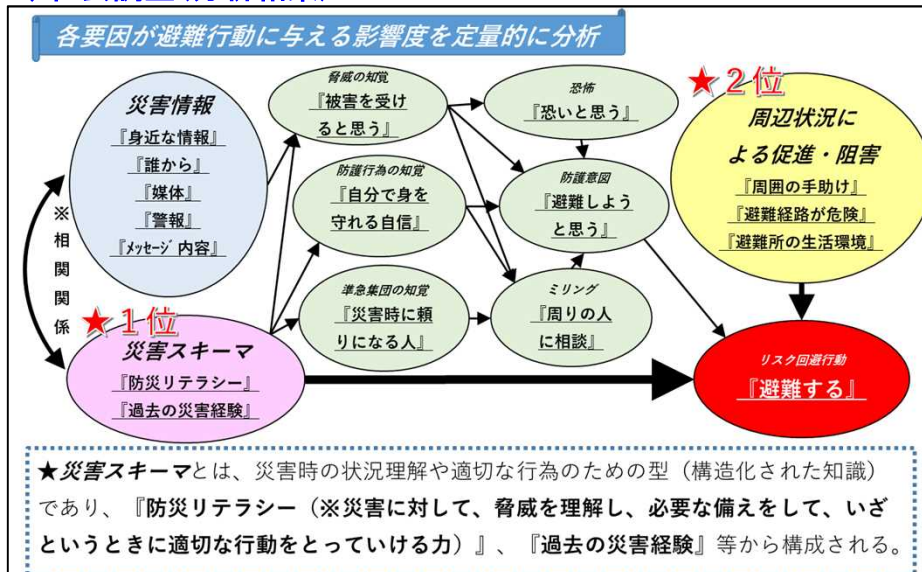
### 【構成員】

学識経験者、国、県、市(日田市、中津市、津久見市)、住民代表

### ◇社会調査(調査概要)

〈目的〉：避難行動を促進、阻害する要因を把握  
〈対象地域〉：日田市、中津市、津久見市の土砂災害警戒区域内の住民世帯(約6,000世帯)  
〈実施結果〉：回収数 1,934件(回収率:約3割)

### ◇社会調査(分析結果)



### 【結論】

『地域の防災リテラシーの向上』や『地域コミュニティにおける共助の推進』につながる取組が必要。

## 【土砂災害避難促進アクションプログラムの主な内容】

■土砂災害から命を守るため、行政と住民が一体となって取組を推進

●計画期間:令和元年度から5カ年

### 1. 地域の防災リテラシーの向上

- 土砂災害及び防災情報に関する知識向上
  - ・土砂災害防災講座の開催
- 地域に応じた避難訓練
  - ・ハザードマップを活用した避難訓練の実施
- 避難時の行動想定
  - ・タイムラインの作成
- 災害履歴や災害経験の伝承
  - ・DVD(災害履歴、土砂災害映像等)の作成

### 2. 地域コミュニティにおける共助の推進

- 防災リーダーの育成・活用
  - ・防災士等を対象にスキルアップ講座の開催

### 3. 安全な避難場所の確保、避難所の環境改善

- 「近隣の安全な場所」の確保
  - ・一時避難場所等をハザードマップに記載

### 4. 住民の避難行動につながる災害情報の提供

- 情報伝達手段の多重化
  - ・テレビによる危険度情報のデータ放送配信
  - ・県民向け「防災アプリ」の運用
- 土砂災害関連情報の精度向上・充実